

自然落雪屋根における堆雪幅を求める表 (隣地側)

簡易版

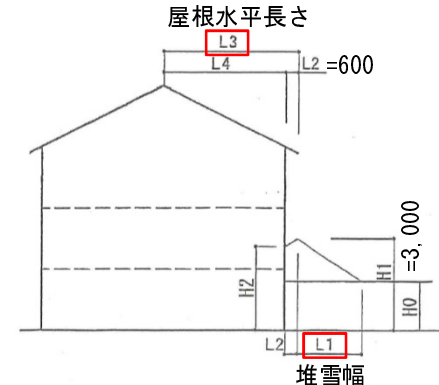
屋根水平長さ L3[m]		堆積幅 L1[m]
1.41	(柱スパン0.5間+軒の出600)	1.0
2.42	(柱スパン1.0間+軒の出600)	1.9
3.33	(柱スパン1.5間+軒の出600)	2.6
4.24	(柱スパン2.0間+軒の出600)	3.2
5.15	(柱スパン2.5間+軒の出600)	3.8
6.06	(柱スパン3.0間+軒の出600)	4.4
6.97	(柱スパン3.5間+軒の出600)	4.8
7.88	(柱スパン4.0間+軒の出600)	5.3
8.79	(柱スパン4.5間+軒の出600)	5.7
9.70	(柱スパン5.0間+軒の出600)	6.1
10.61	(柱スパン5.5間+軒の出600)	6.5
11.52	(柱スパン6.0間+軒の出600)	6.9
12.43	(柱スパン6.5間+軒の出600)	7.3
13.34	(柱スパン7.0間+軒の出600)	7.6
14.25	(柱スパン7.5間+軒の出600)	8.0
15.16	(柱スパン8.0間+軒の出600)	8.3

※条件：自然積雪の最高深さ：H0=3.0[m]

※原則：屋根から落雪した雪は自己所有地内で処理

※確認申請：配置図に落雪影響距離（堆雪幅）寸法を記入

※堆雪幅を確保できない場合は、「落雪した雪は敷地内で処理」と配置図に明記



凡例
L1=堆雪幅
L2=軒の出
L3=家根水平長さ
L4=家根水平長さ(L3-L2)
H0=自然積雪の最高深さ
H1=滑落した屋根雪の最高深さ
H2=滑落した屋根雪の外壁部における高さ

$$\text{簡易式：} L1 = \frac{-1.25 + \sqrt{2.352 \times L3 - 0.0167}}{0.56}$$